エコアクション２１

環境経営レポート

運用期間
令和４年４月１日～令和５年３月 31 日

第 10 版

令和５年 10 月２日発行
協成設備工業株式会社

目　　次

環境経営方針

1.事業者の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ4

2.対象する組織及び経営・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ4

3.実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ5

4.環境負荷の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ6

5.二酸化炭素排出量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ7

6.環境経営目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ8

7.環境経営計画の実施状況の評価・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ9

8.環境経営目標の実績評価と今後の経営・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ11

9.環境関連法規への違反、訴訟等の有無　・・・・・・・・・・・・・・・ｐ13

10.代表者による全体評価と見直し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ14

11.経営資料 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ｐ15

BCP（事業継続経営）への取り組み

事業継続計画

環境経営方針

〔基本理念〕

私たちは、設備工事事業を通して、地域とのコミュニケーションを図り、地域環境保全に努めます。また、地球温暖化防止を推進し、かけがえのない地域環境を守り、自然や資源を大切にして、次世代へ引き継ぐことを目指し、環境保全に配慮した事業活動に努めます。

〔基本方針〕

環境保全経営を推進するにあたり、以下に主な経営項目を掲げ取組みます。

１．当社の主力事業である設備工事事業を通じて環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。

① 温暖化防止に向け、事業活動における CO_2 の排出抑制のため、電力、燃料使用量の削減に努めます。

② 循環型社会の構築に向け、廃棄物削減、リサイクル化の推進、水使用量の削減など、省資源に向けた取組みを推進します。

③ 目的地の事前ルート把握、エコドライブにより燃焼使用料の制御に努めます。

④ 事務用品等のグリーン購入を推進していきます。

⑤ 顧客へ環境に良い設備の導入に向けて啓発を推進するとともに、環境に配慮した工事を実践します。

⑥ 事業を通して、関連する化学物質を適切に管理していきます。

⑦ 働きやすい職場環境の整備に努めます。

⑧ 持続可能な開発目標(SDGs)の一環として BCP(事業継続活動)へ取組みます。

２．事業経営において、環境に関する法律・規制その他公的規準を遵守すると共に環境経営の継続的改善を誓約します。

３．環境経営方針は、全社員に周知するとともに環境経営教育を行い、社員の環境経営に関する意識の向上を図ります。

平成 24 年 10 月 1 日制定
令和 3 年 4 月 1 日改訂
協成設備工業株式会社
代表取締役　　髙村　洋行

１．事業者の概要

(1) 事業者名

協成設備工業株式会社

代表取締役　髙村洋行

(2) 事業所

本社　：熊本県熊本市東区御領６丁目４番５２号

営業所：熊本県菊池市泗水町吉富２０５－２２１（一名：営業のみ）

(3) 事業内容

建設業

給排水・衛生設備工事、空調設備工事、電気設備工事、消防設備工事、

その他上記に付帯する、設計、施工、保守の業務

建設業の許可

熊本県知事　特定　第　9123 号

項目	単位	令和 3 年度	令和 4 年度
売上高	百万円	954	1,093
資本金	万円	2,000	2,000
社員数	人	22	22
車台数	台	19	18

昭和 57 年 2 月 16 日　創立

平成 24 年 5 月 1 日　協成設備工業株式会社、九州システム株式会社 2 社合併

平成 24 年 5 月 1 日　菊池営業所開設

平成 24 年 9 月 18 日　本社を現住所に移転

(5) 会計年度

期首：4 月　　期末：3 月

(6) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理者名　　髙村洋行

担当者連絡名　　當山安美

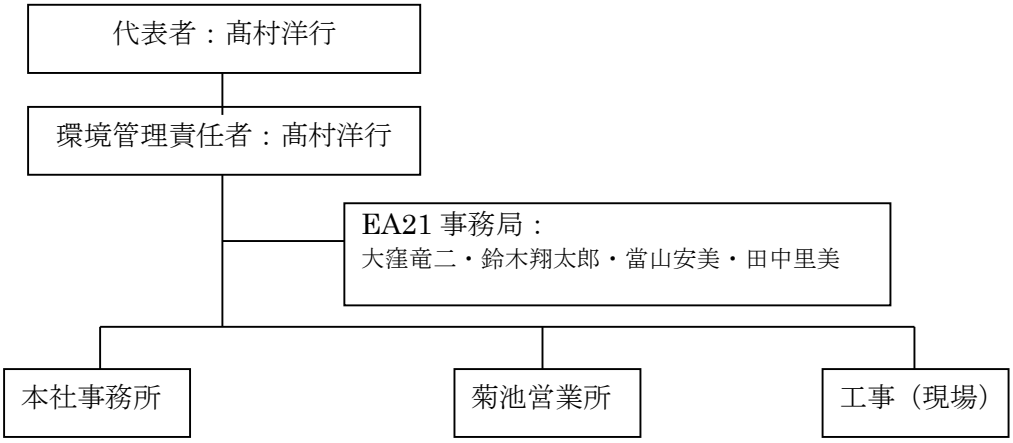
電話　096-389-5811　　FAX　096-389-5889

２．対象とする組織

本社及び菊池営業所における全組織を対象とする。

３．実施体制

１）環境経営組織



2)責任と権限

代表者	① 環境経営に関する総括責任
	② 環境経営方針の制定、環境目標及び環境経営計画の承認
	③ 環境経営システムの評価、全体的な見直し
	④ 環境管理責任者を任命
	⑤ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	① 環境経営システム全体の構築・実施・管理
	② 環境経営目標、環境経営及び環境経営計画の確認・指示
	③ 環境経営の取り組み結果を代表者へ報告
EA21 事務局	① 環境管理責任者の代行及び環境経営の全社的な推進
	② 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	③ 環境文書の作成、管理の実務
	④ 各部門の環境経営の指示及びフォロー
	⑤ 教育と訓練の総括
	⑥ 環境経営システム実績等の評価
	⑦ 緊急事態の予防策、対応策の実施
	⑧ その他、EA21 の事務全般
社　員	① 環境経営方針、目標の理解
	② 環境経営の理解と実施
	③ 環境法規制の遵守
	④ 環境経営へ自主的・積極的な参加

４.環境負荷の推移

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	３年平均
電気使用量（kWh）		10,222	8,255	8,796	9,091
二酸化炭素排出係数（九電）		0.347	0.370	0.479	0.399
二酸化炭素実排出量（Kg-CO2）		3,547	3,054	4,213	3,627
ガソリン使用量（L）		23,340	23,789	23,787	23,639
二酸化炭素排出量（Kg-CO2）		54,149	55,190	55,186	54,842
軽油使用量（L）		413	480	409	434
二酸化炭素排出量（Kg-CO2）		1,065	1,238	1,055	1,120
液化石油ガス（kg）		62.98	63.51	63.77	63.42
二酸化炭素排出量（kg-CO2）		189	190	191	190
二酸化炭素総排出量（Kg-CO2）		58,952	59,671	60,650	59,779
水使用量(m3)		113	166	146	142
フロンガス類	充填量(Kg)	0.25	0.0	0.0	0.08
	回収量(Kg)	0.0	0.0	3.83	1.28
環境設備設置台数（台）	便器	276	248	132	219
	空調機（ﾙｰﾑ）	298	128	207	211
	空調機（業務用）				
産業廃棄物排出量（Kg）		10,550	78,073	195,908	94,844
グリーン商品購入率（%）		69.0	67.0	67.0	67.7
(参考)売上高(百万円)		1,233	1,069	954	1,085
Kg-CO2/売上(百万円)		48	56	64	55
環境効率性EE値(百万円/t-CO2)		20.9	17.9	15.7	18.1

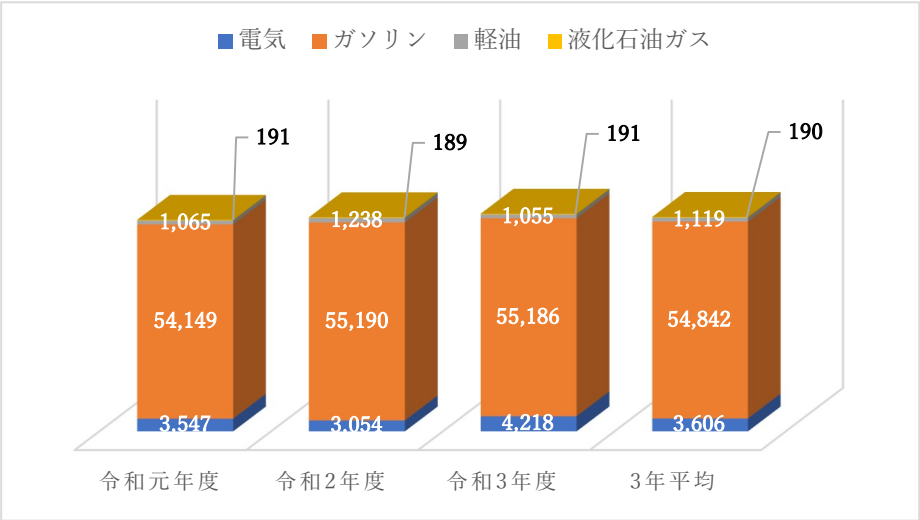
平成25年３月太陽光発電設備（15kw）を導入
平成25年度以降の電気使用量は“買電量-売電量”
平成25年４月15日EA21認証取得
令和４年９月８日 熊本県SDGs事業者登録

５．二酸化炭素排出量

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	３年平均
電気	3,547	3,054	4,213	3,605
ガソリン	54,149	55,190	55,186	54,842
軽油	1,065	1,238	1,055	1,119
液化石油ガス	191	189	191	190
合計	58,952	59,671	60,645	59,756

※単位は全て　kg-CO2

二酸化炭素総排出量(kg-CO2)



環境の効率性増加値

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	３年平均
CO_2総排出量(kg-CO_2)	58,952	59,671	60,645	59,756
売上高(百万円)	1,233	1,069	954	1,085
原単位(kg-CO_2/百万円)	48	56	64	55
値効率性(百万円/t-CO_2)	20.9	17.9	15.7	18.2

６．環境経営目標

項目			基準年度	環境目標		
			3年平均 (R1.R2.R3の3年平均)	令和4年度 (基準年度比−1%)	令和5年度 (基準年度比−2%)	令和6年度 (基準年度比−3%)
1	二酸化炭素排出量削減	電気使用量 （※1）	9,091kWh 3,627kg-CO2	9,000kWh 3,591kg-CO2	8,909kWh 3,555kg-CO2	8,818kWh 3,518kg-CO2
		ガソリン使用量	23,639L 54,842kg-CO2	23,403L 54,295kg-CO2	23,166L 53,745kg-CO2	22,930L 53,198kg-CO2
		軽油使用量	434L 1,119kg-CO2	430L 1,109kg-CO2	425L 1,097kg-CO2	421L 1,086kg-CO2
		液化石油ガス使用量	63.42kg 190kg-CO2	62.79kg 188kg-CO2	62.15kg 186kg-CO2	61.52kg 185kg-CO2
		二酸化炭素総排出量	59,781kg-CO2	59,184Kg-CO2	58,584Kg-CO2	57,987Kg-CO2
		売上高に対しての環境値効率性	18.2 百万円/t-CO2	19.1 百万円/t-CO2 （※2）	20.0 百万円/t-CO2 （※2）	20.9 百万円/t-CO2 （※2）
2	省資源	産業廃棄物の発生抑制･リサイクル推進	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%	リサイクル率 100%
		水使用量削減	142m3 より上限 20%以内	141m3 より上限 20%以内	139m3 より上限 20%以内	138m3 より上限 20%以内
3	化学物質の適切な管理		管理状況確認 1回/週	管理状況確認 1回/週	管理状況確認 1回/週	管理状況確認 1回/週
4	グリーン購入推進		購入率67.7%	グリーン商品購入率 68%以上	グリーン商品購入率 68%以上	グリーン商品購入率 68%以上
5	環境製品の推進及び環境配慮工事の実施		環境設備製品を推進する 環境設備設置台数 100%	環境設備製品を推進する 環境設備設置台数 100%	環境設備製品を推進する 環境設備設置台数 100%	環境設備製品を推進する 環境設備設置台数 100%
			環境配慮工事の実施	環境配慮工事の実施	環境配慮工事の実施	環境配慮工事の実施
6	社会貢献		ボランティア活動での社会貢献	ボランティア活動での社会貢献	ボランティア活動での社会貢献	ボランティア活動での社会貢献
7	太陽光発電		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施
8	５Ｓの推進		継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

※1　購入電力の排出係数は令和元年度～令和3年度九州電力の実排出係数平均0.399を使用した。
（令和元年度　0.347　令和2年度　0.370　令和3年度　0.479　=　平均0.399）

※2　環境目標　令和4年度：基準年度比+0.5%　令和5年度：基準年度比+1%　令和6年度：基準年度比+1.5%とする

７．環境経営計画の実施状況の評価

項　目	推進責任者	具体的な活動	担当者	事務所	営業所	工事
1 CO2 排出量 削減	事務所:田中 営業所:原	不要な照明はこまめに消す	全社員	○	○	○
		OA 機器の退社時の電源 off	〃	○	○	○
		冷暖房設定温度の適切な管理（社内ｱﾝｹｰﾄ実施）	〃	○	○	○
		空調フィルターの定期的清掃（6 月、12 月）	〃	○	○	―
	事務所:田中 営業所:原 工事:大窪	アイドリングストップの推進	〃	○	○	○
		ハイブリッド車の導入	〃	○	―	―
		車両点検の実施（適時）	〃	○	○	○
		整理・整頓による作業効率向上	〃	○	○	○
2 省資源	事務所:當山 営業所:原	裏紙利用の推進	全社員	○	○	―
		ゴミの分別の徹底	〃	○	○	○
		節水の推進（ステッカーによる周知等）	全社員	○	○	―
		排水系への環境負荷物質の漏洩防止	〃	○	○	○
	事務所:當山 営業所:原 工事:鈴木(翔)	原価管理による廃棄処分削減	〃	○	○	○
	工事:鈴木(翔)	産業廃棄物の分別の徹底（協力会社共）	各現場担当者	―	―	○
		リサイクル、再資源化の推進（協力会社共）	〃	―	―	○
		産業廃棄物置場の適正な管理	〃	―	―	○
3 化学物質 管理	工事:大窪	化学物質保管場所管理	全社員	○	―	―
		適切な回収手順の徹底（適時）	各現場担当者	―	―	○
		回収時の漏洩防止の徹底（適時）	〃	―	―	○
		環境法規の遵守（適時）	〃	○	―	○
4 グリーン 購入推進	事務所:當山	エコ表示商品の購入推進	全社員	△	△	○
		詰替え可能な商品の購入推進（適時）	〃	○	―	―
5 製品サー ビスの環 境配慮	事務所:鈴木(翔) 営業所:原 工事:大窪	環境配慮製品の販売促進（適時）	各現場担当者	○	○	○
		顧客への環境配慮補助金の提案（適時）	〃	○	○	○
		自治体への環境配慮製品・工事の提案（適時）	〃	○	○	○
		工事前の事前説明の実施（適時）	〃	―	―	○
		顧客、地域とのコミュニケーション確保（苦情、要望の適正処理）（適時）	〃	○	○	○
		適切な工事手順の徹底	〃	―	―	○

項　目	推進責任者	具体的な活動	担当者	事務所	営業所	工事
5 品質サービスの環境配慮	工事:大窪	現場発生品や環境配慮製品活用の提案・近場からの資材調達	〃	ー	ー	○
		環境対応型製品の購入推進（適時）	〃	ー	ー	○
6 社会貢献	工事:大窪 鈴木(翔)	地域団体主催と自社のボランティア活動での社会貢献	全社員	○	○	○
		後継者の指導・育成に取り組む	全社員	○		○
7 太陽光発電	事務所:環境管理責任者	太陽光発電の継続実施	ー	○	ー	ー
8 5S の推進	事務所:鈴木(翔) 営業所:原 工事:大窪	倉庫、事務所の整理・整頓	全社員	○	○	○
		資格取得実施（協力会社共）	全社員	△	ー	○

※評価基準:○:できた　△:改善の余地あり　×:実施できなかった　ー:対象外

８．環境経営目標の実績評価と今後の経営

項目	目標値 （令和４年度）	実績 （令和４年度）	達成度	評価
１．電気使用量	9,000kwh（3,591kg-CO2）	7,257kwh（2,772kg-CO2）	124%	◎
ｶﾞｿﾘﾝ使用量	23,403L（54,295 kg CO2）	24,686Ｌ（57,272kg-CO2）	95%	○
軽油使用量	430Ｌ（1,109kg-CO2）	311Ｌ（802kg-CO2）	138%	◎
液化石油ｶﾞｽ使用量	62.79kg（188kg-CO2）	33.00kg（99kg-CO2）	190%	◎
（合計 CO2 排出量）	（59,184kg-CO2）	（60,943kg-CO2）	97%	○
環境値効率性	19.1 百万円/t-CO2	17.9 百万円/t-CO2	94%	○

（評価）
・社員一人一人の意識向上により電気使用量は前年より削減出来た。
・遠方の現場増加によりガソリン使用料が増えた。
・アイドリングストップによる CO2 削減に対する社員の意識向上をすることが出来た。

（今後の取組内容）
・会議等の機会を利用し CO2 削減への意識を定着させる。
・現場工程や、スケジュール管理することで、効率よく移動し、CO2 排出量を抑制する。
・経営実績にも意識を向け、各々可能な限り使用量を抑制し、環境の効率性増加に努める。

２．廃棄物発生抑制 リサイクル推進	ﾘｻｲｸﾙ率 100％	ﾘｻｲｸﾙ 100％	100%	◎
水使用量削減	141～169 ㎥	119 ㎥	142%	◎

（評価）
・可燃物、紙類、不燃物で分別の意識向上が図れている。
・社員一人一人が節水の意識を持ち、水使用量を抑えることができた。
・改修現場の増加により産業廃棄物が増加した。

（今後の取組内容）
・原価管理の徹底と社員間の情報交換を継続し、廃棄物の分別に努めていく。
・節水活動にさらに努めていく。
・混在廃棄物を減らし、再資源化に努めていく。

３．化学物質の 適切な管理	適切な管理状況確認 １回／週	適切な管理状況確認 １回／週	100%	◎

（評価）
・週１回、ガス類保管場所の管理状況の確認ができた。
・現場では、有機溶剤のスプレーを使用しない。

（今後の取組内容）
・今後もフロン回収作業等の適切な作業手順を行い、環境への配慮を続けていく。

４．グリーン購入	グリーン購入率 68%以上	グリーン購入率 55%	81%	○

（評価）
・他の同様の商品と比較して環境負荷の少ない商品を選んで購入する様心掛けたが、社員の使いやすさや経費削減取組みの一環として単価を重視して商品を購入したことで、グリーン商品購入率が低下してしまった。

（今後の取組内容）
・環境配慮と経費削減のバランスを考えながら購入する。

５．環境製品の推進 環境配慮工事の実施	環境設備設置台数 100%	環境設備設置台数 100%	100%	◎
	環境配慮工事の徹底	環境配慮工事の徹底	100%	◎

（評価）
・工事依頼を受けた際、ロスナイ、省エネエアコン、節水型便器などを提案した。
・綿密な施工計画により、県内企業（近場）からの資材調達や産廃量の削減に努めた。
・軟弱地盤に応じた管種の提案をし採用され実施した結果、漏水の可能性を防げた。
（今後の取組内容）
・弊社の特性を生かした、設計・施工管理で高い計画性のある工事を提供する。
・現場発生品や環境配慮製品活用・産廃分別を徹底し再生資源活用利用に努める。

６．社会貢献	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動２回/年	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動２回/年	100%	◎

（評価）
・地域団体主催の社会貢献活動に積極的に参加した。
　活動内容：熊本市上下水道局　秋田配水場除草・清掃奉仕活動
・全社員によるロードクリーンボランティアに参加した。
（今後の取組内容）
・今後もボランティア活動を継続していくと共に若手育成にも取り組んでいく。

７．太陽光	継続実施	継続実施	100%	◎
８．５Ｓの推進	継続実施	継続実施	100%	◎

（評価）
・社内での講習会実施など、社内だけでなく協力会社の人材育成に努め、作業効率と意識の向上ができた。
・倉庫見取り図を設置し、整理整頓することができた。
・各個人の整理整頓の重要性を認識することができた。
・現場での資材管理ができた。
（今後の取組内容）
・更に５Ｓの推進に取り組む。
・社員教育を重視し、社員の質の向上を目指す。

※評価基準　◎：達成
○：80％～99％
△：51％～79％
×：50％以下

９．環境関連法規への違反、訴訟等の有無

1. 環境法規制登録表

法規制等	遵守事項　（法規制/自主規制）	遵守評価
水質汚濁防止法 下水道法	特定施設設置届出書 所轄官公庁への届出	－ ○
廃棄物処理法	1.表示板の設置（60cm×60cm） 2.清掃、漏洩防止	○ ○
	1.委託契約書（書面）	○
	1.マニュフェストの発行、管理 2.各票の受領確認	○ ○
	1.運搬車両への表示 2.マニフェスト伝票携帯、発行	○ ○
	1.産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
家電リサイクル法	1.リサイクル料支払い（発生時のみ） 2.廃棄時の適正処置（発生時のみ）	－ －
建設リサイクル法	建設副産物登録証明書（計画） 建設副産物登録証明書（実施）	○ ○
自動車リサイクル法	1.リサイクル料支払い（発生時のみ） 2.廃棄時の適正処置（発生時のみ）	－ －
フロン排出抑制法	（法規制） 1.第一種フロン類回収業登録 目視点検 有資格者点検（発生時のみ） 2.許可内容に沿った回収作業の実施 3.廃棄時の適正処置（発生時のみ） 廃棄時に処理依頼書を発行 処理後に処理証明書を受理 4.県知事への報告	 ○ ○ － ○ ○ ○
熊本県地下水保全条例	地下水採取の許可	○
	地下水採取の届出	○

2. 評価と今後の取組内容

フロン回収については第一種フロン類充填回収業者へ委託し熊本県知事へ報告しております。

遵守評価の結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

関係当局からの違反などの指摘、地域からの苦情もありません。今後も定期的に遵守確認を行い、違反のないよう努めていきたいと思います。

１０．代表者による全体評価と見直し

1. 電気の使用量についてはコロナウィルス感染対策機器の導入や、リモート会議が増加した事で増加が見込まれたが、省エネルギー性能が高い機器の選定や、営業時間短縮による措置で使用量削減を図るなど、評価することができる。
2. ガソリン使用量の増加については、工事受注増加によるものが大きいが環境値効率性の観点から、評価できるものと考える。引き続き使用量削減に努めていくこととする。
3. 社員の情報交換等の意識が定着し、在庫管理、倉庫等の整理・整頓が安定してできていた為、社員の作業効率も向上できていた。今後も、社員全体の情報交換・共有し整理・整頓を徹底し CO2 削減に努めたい。
4. 廃棄物削減・リサイクル推進については、分別の種類の表示等による分別廃棄ができている。工事受注増加による新規協力会社にも意識向上の共有に努めて廃棄量の削減を行いたい。
5. 水使用量削減は、今後も節水に努めていく。
6. グリーン購入推進については、グリーン商品と使いやすさ・経費削減のバランスを重視・検討し商品を購入していく。
7. 環境意識が全従業員に浸透し、高い意識を維持して業務を行い、二酸化炭素排出量ほか各項目において概ね削減目標を達成することができた。
   今後も全従業員一丸となって、温暖化ガス削減提案にも積極的に取り組んでいきたい。
8. 社員の人材育成に力をいれていくと共に、資格取得者を毎年増やしていく。
9. 熊本県 SDGs 登録事業者となり、様々な観点からの持続可能な社会貢献活動・経営に努めていく。

見直し結果

項　　目	見直し結果及び指示事項
環境経営方針 目標･計画	継続 社内の人材育成・資格取得者支援 環境配慮製品の販売促進 整理・整頓の徹底 節水の徹底の継続
その他の仕組み、取組	事務局の任命（宮﨑、古澤龍、仲野、當山）

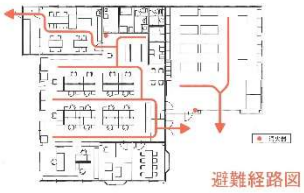
2023 年 9 月 28 日

代表取締役　髙村洋行

緊急事態対策訓練

令和 4 年 10 月 6 日実施

火災発生！！
・消火器の配置場所やケガ人・避難経路の確認
・初期消火、通報や上司への連絡手順の説明



↑倉庫見取り図と照らし合わせて工具在庫や危険物の確認しています。

～～環境管理責任者の所見～～

CSR の意識を持ち速やかにライフラインの復旧ができれば、環境への負荷軽減にもつながります。

今後も社員だけでなく、現場作業員とも情報交換・意識共有し安全安心な水の供給に努めます。

引き続き倉庫や作業所の整理・整頓を徹底していきます。

以前から使用しているハイブリッドカー　5台

今年度購入したハイブリッドカー　2台

ハイブリッド車を導入することで・・・

➢Co2 排出量削減

➢ｶﾞｿﾘﾝ量抑制　　につながります！

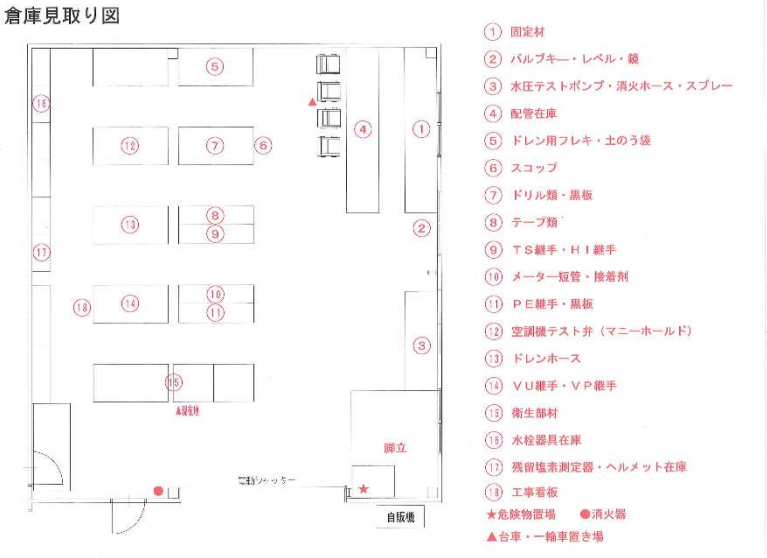
太陽光発電設備の設置

平成 25 年 3 月設置、稼働

☀Co2 排出量削減に努めています☀

今年度の太陽光発電量は、12,484kw でした。
これは、二酸化炭素電力排出量 4,769kg-CO2 に匹敵する量です。

資材倉庫管理



☜倉庫見取図の設置

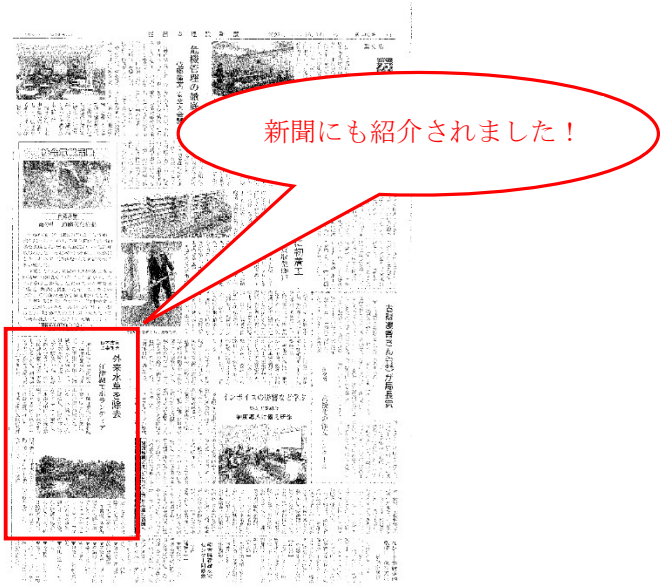
☜番号を振分け作業効率向上

☝危険物の表記・管理

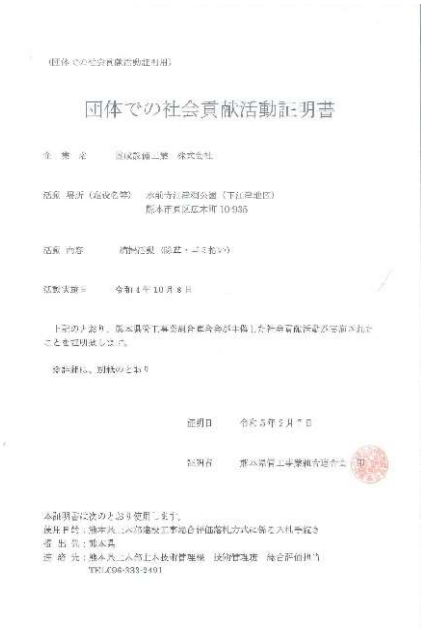
ボランティア活動の実施

実 施 日：令和４年 10 月８日（土）
活動内容：除草・清掃奉仕活動
活動場所：水前寺江津湖公園

活動状況



活動証明書



団体での社会貢献活動証明書

自治体・県内同業者で協力して奉仕活動することができました。
複数企業の力で意義のある活動となりました。

実 施 日：令和４年 12 月３日（土）
活動内容：清掃作業
活動場所：熊本県合志市栄調整池付近の主要地方道　約 1.3 km

活動状況

毎年恒例のロード清掃です。今回も弁当殻や空き缶、煙草の吸殻に加え、雑誌・新聞などいろんなゴミがたくさん落ちてました。
毎回清々しい気持ちになります。今後も、活動を継続してきます。

社内講習活動の実施

実 施 日：令和４年８月 30 日（火）
講習内容：配ポリ融着講習会

講習状況

実 施 日：令和４年 10 月 24 日（月）
講習内容：ダブルプレス講習会

講習状況

社内で講習会を開催することで、社員だけでなく協力会社さんの積極的な参加を促し企業全体として資格取得や能力向上に繋げることができました。

ＢＣＰ（事業継続経営）への取り組み

近年、熊本県では大規模な災害での被害が相次いでおり、事業経営に大きな影響が生じる事が想定されます。
当社は、非常事態時にも事業経営の重要な機能を継続させる為「事業継続計画」を制定し、迅速な復旧と災害に強いインフラストラクチャーの構築に努めます。